

かわぐち消化器内科

第30回「げっぷ」のお話 (げっぷでお困りの方に)



院長 川口 義明

げっぷが出過ぎて困るという方がたまに外来に来ます。今回はげっぷのお話をします。げっぷには2種類あります。

①胃げっぷ: 食後や炭酸飲料水摂取時に認められるげっぷで、胃内の空気貯留→胃内ガスの食道への逆流で起こります。食道と胃の境目の筋肉が緩い(食道裂孔ヘルニア)方は起こりやすいです。胸やけなど合併する場合は逆流性食道炎の治療が有効な場合があります。

②食道げっぷ: 胃内貯留ガスが吐き出されるわけではなく、食道内に空気を吸い込み、すぐに吐出するもので味の無いげっぷ。会話中、何かに夢中になっている時は止まり、睡眠中は認められず、その他の症状は通常ありません。不安神経症、脅迫観念症、過食症を合併することもあり、無意識にわざと行っているげっぷであり、適切な認知行動療法(腹式呼吸など)が有効とされます。

皆さんのげっぷはどちらでしょうか。お困りの方はご相談ください。



かわぐち 消化器内科

TEL **045-830-5311**

港南区港南台5-23-30
港南台医療モール3F



〔診療時間〕
午前 9:00-12:00
午後 16:00-17:30
〔休診〕
木曜・日曜・祝日
(土曜午後)



港南台駅
ロータリー
ココス
ドトール
すき家
幸楽苑
当院3F
団地
地もめ
バス
スヨ
タリ
GS

港南台駅入口